

# 「コロナ後の M&A 戦略」テーマに例会 名南 M&A 社の篠田康人社長が講演 第 37 回東海財界倶楽部例会

「コロナ後の M&A 戦略」をテーマに名南 M&A 株式会社の篠田康人社長を招いて弊社主催の第 37 回東海財界倶楽部例会が 10 月 2 日、名古屋市東区のホテルオークラレストランで開かれた。弊誌 6 月号の巻頭インタビューにも登場していただいた篠田さんは、企業などの合併・吸収という M&A 事業について「かつてはネガティブなイメージしかなかったが今やすっかりマーケットとして自立、隔世の感がある」と語り始めた。



M&A について語る篠田康人社長

M&A とは、Mergers(合併) and Acquisitions(買収)の略。日本語表記は「マージャーズ・アンド・アクイジションズ」。ビジネスの売買や複数のビジネスを 1 つに統合すると言う意味で使われる。1966 年に設立された佐藤澄男税理士事務所から始まり、行政書士や経営コンサルタント、司法書士などに事業展開して分社化。2001 年 1 月に名古屋市熱田区の「株式会社名南経営」内に設立された、M&A コンサルティングを手がける企業情報部を直接の母体に名南 M&A 株式会社が生まれた。現在では税理士法人名南経営や株式会社名南コンサルティングを中心とする「名南コンサルティングネットワーク」16 社の主要法人の 1 つとして M&A 専門の事業を展開している。グループ全体のクライアント数は約 6 千件、スタッフは約 600 人を誇っている。

## ハゲタカから経営手段の 1 つへ

篠田さんの講演によると、会社の合併や吸収という仕事は、かつては会社の乗っ取りなど「ハゲタカ」といったネガティブイメージがあった。名刺の受け取りを嫌がられた時期もあったという。しかし、商法や会社法改正による規制

緩和の流れで企業再編が円滑に行われる環境となったのを受け、M&A に「企業の真価を次代へ繋ぐ経営手段のひとつ」という積極的な意義が見いだされるようになり、2006 年の国内での M&A 件数は 2775 件とピークを迎えた。その後、リーマンショックによる落ち込みはあったものの 2011 年を底に以降、右肩上がり続け、2019 年には 4088 件となった。

今回のコロナショックについては「人の外出、移動制限による消費激減が原因であり、その関連企業の業績が悪化した。これから金融への影響が懸念され、収束時期が見えず、対応策がとりづらい」と前置き。その上で、今後は「必要なのは金融施策ではなく財政施策であり、消費をいかに刺激するかがポイント」と指摘。例えば、お金を使った人が得をする施策の例として、①消費税減税②旅行・宿泊関連補助（Go-To トラベル、イートといった事業）③高速料金の値下げといった施策のほかにもリモート整備導入補助金や税制策、新しい生活様式に対応した制度を導入した企業への補助金や税制策などを「対応策」として提案した。

## 事業承継は早め早めに決断を

M&A 事業への影響については、国内経済で大きな課題となっている事業承継を目的とする M&A の相談や情報提供が多くなる傾向にあるといい、今のコロナ禍についても篠田さんは「相談ができにくくなっただけであり、コロナ禍以前からあった売り手市場の状況は変わらないと楽観視している」と話した。

この傾向を踏まえて篠田さんは、コロナ後の M&A 戦略として次の 4 項目を提示。まず M&A 戦略としての事業承継については「昔は 10 年スパンで考えられていたが 5 年スパンで検討し、コロナだけでなく自然災害もあり早めの準備が必要」とし▽株主の整理▽個人財産と法人財産の整理▽負債の圧縮▽契約関係、コンプライアンス対応のチェックといった項目を「準備しておくべきこと」と提案した。

2 番目としては、「コロナ禍では、本業だけではリスクが大きいのもう一つの柱となる事業がほしい」といった動機がみられることから、今後の M&A は業際（本業に近い業種）を意識した事業の多角化も視野に入れる戦略も重要だ、とする。

3 番目には、他社との協同による生き残り策



乾杯の挨拶を行うコノコ社長山下三男氏

も検討すべきで▽業務提携▽持ち株会社——といった「合従連衡」策も検討すべきだとした。さらに、どの業界においても M&A 市場はますます加速するとし、「売り手市場の M&A マーケットでは、待ちの姿勢では良い案件は出てこないで、積極的に仕掛けることも有効だ」と 4 番目に挙げた。

最後に篠田氏は、年末から年度末にかけて過剰な債務をカットし事業価値に見合う「再生型 M&A」の相談が増えてくる、と予想。「会社を譲渡するなら企業価値が最高である時機を見逃さないことです」と強調した。

(文責・東海財界編集部)

## 久々の開催に感謝申し上げます。次回講師は水口東海財務局長様

新型コロナウイルスの感染拡大により中断しておりました第 37 回東海財界倶楽部例会を 6 月 25 日以来久々に開催できましたのは、ひとえに会員諸氏の皆様のおかげでございます。感染リスク防止に、立席方式から着席方式とし、皆様に検温もお願い申し上げての開催をご甘受頂きここに改めて感謝申し上げます。別添のように、異業種交流の当倶楽部では多彩な講師陣

をお招きして参りました。今後とも、皆様とともに最新情報の勉強会を続けて参りますのでどうかよろしくご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。なお、次回の例会では、今年 7 月に東海財務局長に着任されました水口純様を 11 月 27 日にお迎えします。楽しみにお待ちください。

株式会社中部財界フォーラム社塚本隆社長

### 東海財界倶楽部過去の講師一覧（肩書き等は例会開催当時のもの）

回数	講師名	回数	講師名	回数	講師名
1	尾村辰夫 税理士	14	飯塚厚 東海財務局長	27	川又米利 元プロ野球選手
2	大矢裕慈 中部日中経済交流会会長	15	柴田和範 日本公認会計士協会東海会会長	28	藤原浩昭 名古屋入国管理局長
3	富安徳久 ティア代表取締役	16	片岡信恒 弁護士	30	清水季子 日本銀行名古屋支店長
4	堀江正樹 日本公認会計士協会東海会会長	18	岩城正光 元名古屋市副市長	31	亀水晋 東海財務局長
5	野俣光孝 中部運輸局長	19	長谷川靖 東海財務局長	32	丹羽ひろし 名古屋市会議長
7	長谷川浩一 東海財務局長	20	成田俊一 ジャーナリスト	33	石川清 愛知医療学院短期大学学長
8	河上洋右 名古屋税関長	21	藤原浩昭 名古屋入国管理局長	34	藤本拓資 東海財務局長
9	朴煥善 駐名古屋大韓民国総領事館総領事	22	鄭煥星 駐名古屋大韓民国総領事館総領事	35	久松但 日本公認会計士協会東海会会長
10	中山厚 中部国際空港監査役	24	森雅博 キャッチネットワーク代表	36	吉川純子 ピアニスト
12	南雲吉則 ナグモクリニック総院長	25	寺田達史 東海財務局長	37	篠田康人 名南 M&A 社長
13	鈴木正俊 東海地区信用金庫協会専務理事	26	吉川順子 ピアニスト	38	水口純 東海財務局長